

せっかくの休日だからということ
霧子が提案して
一緒にプールに行くことになった。

これが...
プロデューサーさんの
おちんちん...♡

ふふ...♡
とても...
元気ですね...♡

シャワー室へと連れ込まれると
俺の水着を脱がされた。
出会ったころの彼女と比べたら
とんでもなく大胆だ。

すんすん...♥ふふっ♥
プロデューサーさんの
おちんちんさん
すごくにおいませす...♥

霧子流石に
においを嗅ぐのは
恥ずかしいから
やめてくれ...

ふふ...ダメですよ
プロデューサーさん♥
恥ずかしいところも
全部わたくしに
見せてください...♥

えわ...♥

アイドルとして魅力をあげるため
セックスする関係になったわけだが
いつのまにか霧子に
主導権を取られることが多くなった。

それではいただきます...
れろお...ぬろ...れろれるっ
にゆるっ♥ビクビクっ
おちんちんが跳ねてる♥
もっ大きくしてあげます♥

ちゅぶっ♥ちゅる♥
ちゅろっ♥ちゅる♥
プロデュサーさんの
匂いが広がって...♥
ちゅるっ♥

先走り汁が零れる亀頭を
霧子は舌でチロチロと
舐めまわしていく。

れろ
れる♥

せくっ
せくっ

霧子の愛らしい口が
グロテスクな肉棒を
愛撫している。肉棒を
俺は下半身に血流が
流れ込んでいくのを実感した。

ちゅろっ♡ちゅぶっ♡
ふふ…だいぶ固くなりましたね♡
プロデューサーさん♡
おちんぽさん可愛い…♡
にゅろっ♡にゅるるっ♡

れりゅっ♡ぺろ♡ぬろお♡
わたしの口でこんなにくれ
おちんぽさんを勃起させて
くれてうれしいです♡

陰囊の精子が
この口に今すぐ射精したいと
いう欲望をぐっくと抑える。
折角楽しんでる霧子を
落胆させたことはない。

ちゅろっ♡
ちゅぶっ♡
ちゅろっ♡
ちゅぶっ♡

びゅん
びゅん

それでは…おちんちん
おしやぶり
させていただきますね…♥
わたしがご奉仕するところを
しっかり見ててください…♥

ああ頼む
霧子の口まんこで
フェエラ抜きしてくれ

霧子の口が肉棒を覆いこむ。
霧子は上目遣いで
空気を含みながら吸引する。
搾精する気満々だ。



ぢゅぷっ♡じゅるじゅる♡
ぢゅっじゅぼぼぼっ♡ぢゅううう♡
♡♡♡

ジュボボッ...

ぢゅっ♡んっ♡
ぢゅる♡んっ♡ぢゅぷっ♡
プロデュサーさんの
味がロの中であがって♡

くあっ!
あああっ!

ぢゅっ♡んっ♡

んっ♡んっ♡

唾液をたっぷりふくみ
唇をすぼめて肉棒を
喉奥まで飲み込んでいく。
俺は強烈な口淫の快楽に
頭が真っ白になる。

じゅぽっ♡

じゅぽっ♡

じゅぽっ♡

じゅぽっ♡

ああ霧子
とても気持ちいいよ

じゅぽっ♡♡ぢゅるるっ♡
んぷっ♡ぢゅる♡
どうですかプロデューサーさん
気持ちいいですか？
わたし上手くなりました？

んぷっ♡♡ぢゅるるっ♡
んふっ♡♡ぢゅるるっ♡
ぢゅぞっ♡♡ぢゅるるっ♡
ぢゅぞっ♡♡ぢゅるるっ♡
お口でもっ♡と気持ちよく
しますね♡

んぷっ♡

んぷっ♡

んぷっ♡

んぷっ♡

んぷっ♡



くふうん♥んふっ♥ぢゆるっ♥
ぢゆるっ♥んぷっ♥
すごく濃厚なオスの味…♥
おいしい♥

うん

霧子の
お便女顔エロすぎ…

バクバク

ぢゅー
ぢゅー

うん
ん

霧子は口から零れ落ちた
精液を丁寧に舐めとって
霧子の唾液で俺の肉棒は
テカテカと光っていた。

んぐくっ♥んぷっ♥んんっ♥
喉に絡みつきます…♥
プロデューサーさんの
おチンポ汁
ちよつと濃すぎです♥

ふふぐん馳走様でしたの
プロデューサーさんの
おとなの濃いチンポ汁
おいしかったです♥
……ふふ♥プロデューサーさんの
おちんぼさんまだ元気ですね♥

プロデューサーさんが
良ければ……
わたしやってみたいことが
あるんです……♥

霧子の予想外の提案に
俺は二つ返事で引き受けた。